

# 令和5年度 事業成果報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

## 1. 地雷処理支援事業成果実績

カンボジア政府機関のCMAC(カンボジア地雷対策センター)と共同して事業を実施し、村人参加型の地雷探知チーム5名により、バタンバン州のカムリエン郡、プノンプラ郡、サンパウルーン郡、及びパイリン州内の15村26箇所の地雷原を探知し、約111ヘクタール(累計約497ヘクタール、東京ドーム106個分)の農地を安全にするとともに、活動地域の村人からの情報による回収活動、危険回避の啓蒙活動を行いました。

詳細は、以下である。( ) 数字は2011年8月からの累計

- (1) 処理した地雷数 : 対人地雷103個(1,035個) 対戦車地雷13個(230個)
- (2) 処理した不発弾 : 122個(1,849個)
- (3) 処理した面積 : 1,108,532平方メートル(4,970,815平方メートル)

## 2. 地域復興支援事業成果実績

### (1) 相互の友好交流を促進する事業

地場産業の発展支援事業では、8月にフランス・パリで開催された KuraMaster2023 パリコンクールの表彰式にクマエ蒸留会社ソックミエン社長と参加しました。パリで在フランスカンボジア国大使を表敬し交流しました。ブリュッセルに行って在ベルギー日本国大使を表敬し交流しました。HCHのシッター社長が来日し愛媛の皆さんと交流されました。東京の代々木公園でカンボジアフェスティバルが開催され、在日本カンボジア王国大使等と交流しました。プノンペンで在カンボジア日本国大使を表敬し交流しました。地域復興支援事業では、ドイツのGIZの皆さまがタサエン宿舎を訪問、交流された他、タイ、ラオスの皆さまもタサエン宿舎を訪問、交流されました。

### (2) インフラ整備を支援する事業

#### ア 井戸掘削

井戸7基(No. 76~No. 82)完成。

#### イ 車いす

愛媛県の東温市社会福祉協議会の「海渡る車いす実行委員会」様よりご寄贈いただいた28台の車いすが今期3月にパイリン州に到着しましたので、州知事から車いすを必要とされる村人にお渡しいたします。

#### ウ ゴミゼロ運動

IMCCD日本語学校の子供達が、宿舎のゴミを拾う活動を毎日実施しています。

### (3) 農業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社(ソックミエン社長)の管理する農地10ヘクタールで栽培する農作物や果物の生育状況を村人に知らせ、特にアボガド等タサエン地区で生育する作物を村人に教え栽培を奨励しています。

(4) 地場産業の発展を支援する事業

クマエ蒸留会社(ソックミエン社長)が取り組んでいる農産物を加工して産業の発展を目指す活動では、キャッサバ芋、ジャスミン米、サトウキビ、マンゴー、バナナ、ジャックフルーツ等を原料にして焼酎やスピリッツ、ラム酒を製造しています。5月パリで開催されたお酒の審査会 **KuraMaster2023** に、お酒類5種類をエントリーし挑戦した結果、4種類が入賞しました。どれも高級酒として評価され、カンボジア国内や日本にも輸出され販売されています。更には、今期3月までに **KuraMaster2024** パリコンクールに4種類を、またイギリス・ロンドンで開催される **IWSC** 世界最高峰のお酒のコンクールにも6種類エントリーしました。

(5) 日本企業の誘致を支援する事業

現在まで、2008年に1社、2011年に2社、2014年に1社を活動地のカムリエン郡に企業誘致して活動しましたが、2019年に1社がプノンペンの経済特区に移転し、現在は、3社がカムリエン郡地域で操業しています。

(6) 教育環境の発展を支援する事業

今期は、学校建設はありません。

(7) 人材の育成を支援する事業

ア 現在愛媛県に来ているカンボジア技能実習生の側面的な支援をしています。更に中学生の留学生2名を受け入れるとの話があり、両親や、お世話される日本側の関係者と意見交換をしております。

イ IMCCD日本語学校

日本語の先生が退職し、現在、先生はいませんが、数名の子供達が自主的に日本語を勉強しています。1月～3月までは、プノンペンの大学3年生の **Kim Long** 君がクマエ蒸留会社のインターンシップに来ていたので、タサエンの小学生や中学生に夕方5時過ぎから7時頃までパソコンを教えていました。

(8) 講演、写真パネル展などを通じ平和構築を啓発する事業

ア 日本での講演活動

日本での講演活動は、2020年のコロナ禍前に比べ、増加しました。オンラインでの講演も引き続きありますが、直接現地に行って講演を行うことが多くなりました。

写真パネルイベントは、5月に東京の代々木公園で行われたカンボジアフェスティバルに東京支部がブースを出展、多くの皆さまがブースを訪問して下さいました。更に、奈良支部がジャパントラックショーに、兵庫支部がワンワールド・フェスティバルに出展しました。愛媛では宇和島分会や支援者の皆さまに講演会を開催していただき、小グループでのミニ講演のような形で定期的に行う啓発活動も多くなりました。

イ 日本人のタサエン地区など訪問見学

今期は、徐々に訪問者が増えて、約90名の方がタサエンの宿舎を訪問されました。

(9) 広報に関する事業

ア リーフレットやカンボジア便りなど年2回支援者の皆さんに1回につき1,200部を郵送しています。

イ 表彰

今期はありません。

ウ 関西地区で定期的にラジオ出演を行いました。

著書 『地雷処理という仕事』－筑摩書房－初版8,000部 重版2刷り800部  
3刷り800部

『平和の種になりたい－カンボジアの復興に奔走した12年の記録－』2,000部  
10周年記念誌『平和の種になりたい－ご支援いただいた皆様に感謝－』  
初版2,000部 増刷500部

動画 『平和の種になりたい』－IMCCD－